

議会だより みなかみ



バックナンバー
が見られます。



Minakami
Biosphere Reserve

アクティブ全開！ MINAKAMI

議員定数 14人

みなかみ町の議員になるには？

議員選挙に立候補して当選しないとれません。

議員選挙に立候補できる人の条件

- 年齢満 25 歳以上の日本国民。
 - 引き続き 3 ヶ月以上みなかみ町に住所があり、欠格事項に該当しない人。
- * 欠格事項…禁錮以上の刑に処せられ、その執行が終わるまでの者、または、その執行を受けることがなくなるまでの者。公職選挙法、政治資金規正法等の規定に違反して罰金以上の刑に処せられ、選挙権、被選挙権を停止されている期間中の者など。

選挙費用は
どのくらい？

- 候補者一人あたり、おおよそ
50 万円～ 150 万円
(供託金含む)
- 選挙では、選挙カーや選挙ポスターなどがよく使われますが、費用のかかり方は人によって異なります。
 - 一部公費負担制度があります。

きょう たく きん
供託金
15万円が必要です

- 一時的に預けるお金です。
- 選挙で一定の得票数があれば返還されます。

選挙のスケジュール

(2026 年の目安です)

9月上旬

- 立候補予定者及び出納責任者への説明会



9月下旬

- 供託金の納入
- 立候補届出書類の事前審査



9月29日

- 告示日（立候補の届出・選挙運動開始）
〈期日前投票もできます〉



10月 4日

- 投票日（投票締め切り後、即日開票）

議員に関する Q&A



Q1 どんな仕事をしていますか？



地域の課題を住民から聞き取り、町政に反映させ、住みよい町にする活動を行っています。そのために議会での審議や一般質問をしています。また委員会活動や地域活動などもあります。

Q2 任期は何年ですか？



4年間です。

Q3 特別な資格などは必要ですか？



立候補できる人の条件を満たしていれば、ほかには必要ありません。

Q4 給料はありますか？



町の条例で定められた議員報酬が支給されます。

議会の映像配信

QRコードを読み取るか町ホームページから検索してください。



Q5 議会の様子を見ることはできますか？



傍聴席から見学できます。また、録画になりますが映像配信も行っています。

Q6 議員はどうやって選ばれていますか？



議員選挙に立候補した人に、町民（18 歳以上）が投票して議員を選びます。



特
集

定
例
会

一
般
質
問

活
動
報
告

話
題

掲
示
板

特
集

定
例
会

一
般
質
問

活
動
報
告

話
題

掲
示
板

6月議会
あらまし

6月4日から12日までの会期で6月定例議会を開いた。
発議1件、報告7件、承認3件、人事1件、契約6件、
条例2件、その他4件、補正予算1件を審議した。
一般質問は7人であった（6／13頁）。

人事

固定資産評価員の選任
次の方の人事案に同意した。
なかざわ さとし
中澤 聡氏（大穴）

承認

第4号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告

反対 星野宗央 議員
公的医療制度に上乗せして徴収をする、なぜ公的医療保険から徴収をするのか、負担増にしかないのではないか。

契約

第54号 みなかみ町おもちゃ美術館（仮称）改修工事請負契約の締結

反対 星野宗央 議員
維持費・管理費の負担も増えるのではないか。必要な事業は他にもある。住民負担の軽減につながる予算の使い方を期待する。

条例

第59号 下水道条例の一部を改正する条例

反対 星野宗央 議員
物価高騰で暮らしは大変に。その大変な状況の時に住民の生活を守るのが自治体としての役割ではないか。

賛成 茂木法志 議員
下水道使用料の改正は、下水道事業運営審議会の答申や令和8年3月に示された経営戦略に基づき、持続可能な運営を目指しているものと評価する。

第60号 農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

反対 星野宗央 議員
今は住民負担を増やすべき時ではない。住民の懐を温めて経済の活性化こそ図るべき。

賛成 茂木法志 議員
一般会計に頼らない経営、独立採算制が求められており、こちらも経営戦略に基づいて、持続可能な運営を目指している。

湯宿終末処理場（汚水をきれいにする施設）

補正

総額 157億3596万円
補正額 3億5646万円
(端数処理あり)

歳出

減債基金管理事業…………… 3251 万円
道路維持管理事業…………… 2200 万円
第 83 回国民スポーツ大会開催準備事業…………… 2 億 5740 万円
その他…………… 4455 万円

歳入

地域未来交付金…………… 1 億 2870 万円
市町村有競技別拠点スポーツ施設整備事業補助金…………… 3251 万円
ふるさと応援基金繰入金…………… 4893 万円
町債…………… 1 億 3850 万円
その他…………… 782 万円

陳情

委員長・議長は採決に加わりません

件 名	陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
第1号 新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情	政党機関紙の庁舎内勧誘の自粛を求める群馬県民の会 上田 寿江	総務文教厚生常任委員会 賛成少数 0：6 不採択すべきもの	賛成少数 0：13 不採択
第2号 m RNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業の中止の意見書提出を求める陳情書	群馬県有志の会 代表 武井 俊樹	総務文教厚生常任委員会 賛成少数 0：6 不採択すべきもの	賛成少数 0：13 不採択

6月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果
発議 第 2 号	議員派遣	全会一致可決
報告	第 4 号 令和7年度社会資本整備総合交付金事業町道真政悪戸線大沢田川付替工事（第2工区）変更請負契約の専決処分報告	
	第 5 号 町立桃野小学校旧校舎棟他解体工事請負変更契約の専決処分報告	
	第 6 号 令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	
	第 7 号 令和7年度水道事業会計継続費繰越計算書の報告	
	第 8 号 令和7年度水道事業会計予算繰越計算書の報告	
	第 9 号 令和7年度下水道事業会計予算繰越計算書の報告	
	第 10 号 土地開発公社の経営状況の報告	
承認	第 2 号 税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	全会一致承認
	第 3 号 都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	
	第 4 号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	賛成多数承認 12：1
議案	第 52 号 固定資産評価員の選任	全会一致同意
	第 53 号 令和8年度行政事務用パソコン購入契約の締結	全会一致可決
	第 54 号 令和8年度みなかみ町おもちゃ美術館（仮称）改修工事請負契約の締結	賛成多数可決 11：2
	第 55 号 令和8年度社会資本整備総合交付金事業除雪車（除雪ドーザ5 t 級）購入契約の締結	全会一致可決
	第 56 号 令和7年度（繰越）給食センター統合改修工事請負契約の締結	
	第 57 号 令和8年度スクールバス（29 人乗り）購入契約の締結	
	第 58 号 令和8年度へき地児童生徒援助費等補助事業 スクールバス（29 人乗り）購入契約の締結	
	第 59 号 下水道条例の一部を改正する条例	賛成多数可決 12：1
	第 60 号 農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	
	第 61 号 財産処分	全会一致可決
	第 62 号 財産処分	
	第 63～64 号 町道路線廃止・認定	
	第 65 号 令和8年度一般会計補正予算（第1号）	

5

みなかみ 議会だより（第88号）

みなかみ 議会だより（第88号）

4



一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。
執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。
定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

- | | | | | | | |
|--|--|--|---|--|---|---|
| 石坂 武 いしがか たけし
① 外部人材の積極的な活用に向け
② 友好都市交流の推進に向け | 阿部 清 あべ きよし
① 蛍光灯の生産終了に伴う町の対応
② 道路沿い樹木の適正管理 | 鈴木 美香 すずき みか
① 伴走型の健康福祉事業について
② 「みなかみ18湯」の現状について
③ 「ふるさと住民登録制度」の参画は
④ 行政におけるサイバーセキュリティの強化の取り組みは | 高橋 久美子 たかはし くみこ
① シビックプライドの取り組み
② ハラスメント防止条例の設置
③ ごみポイ捨てに対する取り組み
④ 森林資源循環によるまちづくりの進捗状況 | 星野 宗央 ほしの かずひさ
① 自衛隊への名簿提出の現状と対応は
② 町の「お弁当の日」の取り組みは | 河合 史将 かわい ふみまさ
① 阿部町長になり、みなかみ町はどのように変わったのか
② 二期目の挑戦も掲げましたが
③ たくみの里の今後について
④ たくみの里内の公衆トイレについて | 牧田 直己 まきた なおき
① みなかみ町ならではの教育環境の充実について
② 廃校となった月夜野北小・古馬牧小の今後について
③ 町民の安全確保を最優先とした大規模災害時の相互支援体制について |
|--|--|--|---|--|---|---|



石坂 武 議員

町民に分かりやすい組織づくりとは 行政課題に迅速に対応できる体制の構築



問 組織改編のポイントとして「町民に分かりやすい組織づくり」と行政課題に対応できる体制の構築の2点」と述べているが具体的な説明は。

答 町長 相談先・担当部署が分かりやすく、責任の所在が明確な組織を確立すること、各行政運営の専門性を高め、複雑で多様な行政

課題に対し、迅速かつ的確に対応できる体制を構築すること。

問 今後も地域防災マナージャー及び地域活性化起業人等、外部人材の活用については積極的に取り組んでいくのか。

答 町長 外部の専門人材の活用は、今後も町が直面する行政課題を解決する上で、一つの大変有効な手法であると認識している。

問 上下水道課を含む事業系部署と他の部署において、今回の異動内容に大きな違いがあるように思う。行政課題に対応できる体制の構築を図るための改編と述べている訳だが、今後に向けての考えは。

答 町長 上下水道技術職の計画的な採用と職員へのOJTを通じて、人材育成を両輪で進めることで、

上下水道事業サービスにおける質の維持向上を目指したい。

問 今年度の除雪センター所長が、地域整備課長と兼務になっている。危機管理に支障はないのか。

答 町長 現場の情報と本町の全体的な状況を統合し、効率的な除雪作業を指揮できる体制を目指したものである。

*注1 職場内訓練。

友好都市交流の推進に向け

問 4月より、観光商工課内に友好都市交流推進室が設置された。推進室の設置の背景と目的は。

答 町長 これまでは、イベント出店や物産販売を中心とした個別事業にとどまっており、体系的な検証が十分でなかったと認識している。交流を実施段階から成果につなげる段階へと移行させるため、友好都市交流推進室を設置した。

問 台南市・奄美市との教育委員会関連の交流について、観光商工課内に友好都市交流推進室が設置されたが、今後の、所管・事務対応は。

答 教育長 台南市については、友好都市交流推進室を窓口として、推進室の仕事の一環として日程調整などをお願いしたい。奄美市との交流事業については、現在のところ従来通り進めたい。



改編により課が増えました



阿部 清 議員

LED照明設置費用補助の考えは 町民に寄り添う姿勢として検討

問 蛍光灯は、水銀に関する水俣条約に基づき2027年末までに製造及び輸出入が禁止になることが決定された。この規制により、今後、一般照明用の蛍光灯の製造が全て終了になるためLED照明への移行となる。町の公共施設の切り替え状況は。

答 町長 公共施設124カ所のうち、令和8年4月時点で19カ所で補助金を活用できる施設から優先的に切り替え工事を実施した。未実施の施設は利用頻度に応じて段階的に切り替えていく。

助金があり、この補助金は、町防災計画に位置付けられている指定避難所が対象となる。

道路沿い樹木の適正管理

問 近年、道路沿いの成長しすぎた樹木が目立ち、枝が道にはみ出したり、枝折れや倒木の恐れで車両や歩行者の安全を脅かす危険な存在になっている。さらに成長しすぎると電線に接触し停電を引き起こすことも想定される。現在行なっている町の対応は。

答 町長 土地所有者や管理者が適切に維持管理を行い、道路パトロールや地域からの情報等を通じて、危険箇所の把握に努め、通行に支障が生じる樹木は、所有者に適切な管理をお願いしている。

問 現在、水上地区の主要道路の至る所で、ナラ枯れによる被害木の枝が落下し始めている。今後は道路への倒木により、

答 町長 基本的には、樹木の管理は沿道でも地権者の責任において行うことが原則であり、ナラ枯れについて現時点では補助事業がないため、補助事業が整備された場合は、積極的に活用していく。



倒木によりふさがれた道路



問 公民館等の地区集会施設のLED切り替え工事も、補助が可能になるか。

答 町長 地域コミュニティ施設整備事業補助金、自主防災組織活動補



鈴木 美香 議員

元気に暮らせる健康寿命の延伸を 健診で病の早期発見、早期対策に努める

問 介護を受ける理由には様々な要因があり、その一つに認知症がある。本人の予防意識向上と、ご家族への支援を両立する「あたまの健康チェック®」の検査について、町民の受診機会の創出は。

答 町長 町が取り組んでいる認知症対策を踏まえつつ、検査内容等の費用対効果等は、継続的に検討を行う。

答 町長 宿泊施設のある温泉地を指しており、温泉の数が変わっても18の数字は語呂がよく、私の十八番や数が多いという象徴的な意味もある。単なる数の説明ではなく、町を代表する観光ブランドとしての呼称である。

問 本町の温泉地をキャラクター化し、PR活動を行ってきた泉極ガールズ。現在の運営体制と、町としての関わり方は。

答 町長 町村合併10周年記念事業のみなかみ体操のPR企画を公募した際に応募があり、採用されたもの。制作、著作権、運営主体は民間会社にある。町主催のイベントに出演の際には、委託料を支払うが補助金など支出はしていない。

問 温泉文化カンファレンスが我がみなかみ町で開催される。この準備を踏まえ、18湯というブランドが、いま本当の意味で機能しているのか、立ち止まって検証する時期に来ている。18湯をうたう条件や定義は。

ふるさと住民登録制度

※1
*注1 実際に住んでいなくても応援したい自治体の「住民」として任意で登録できる国の制度。

問 町では二拠点居住の促進や交流人口、関係人口の創出に積極的に取り組んでいる。町長が掲げているみなかみファンクラブ構想、総合計画等にあるみなかみサポーター制度の構築と重なる部分が多々あるが参入する意思は。

答 町長 当然、ある。

問 具体的な目的と期待する効果は。

答 副町長 情報資産の適切な管理、標的型攻撃への対応、インシデント発生時の初動処置など、実務に則した研修を実施。

サイバーセキュリティ強化の取り組み

問 サイバー攻撃の脅威から重要データやシステムを守るために、職員及び関係者のリテラシーを向上させる対策は。

答 副町長 情報資産の適切な管理、標的型攻撃への対応、インシデント発生時の初動処置など、実務に則した研修を実施。





高橋 久美子 議員

※1 シビックプライドの醸成を深化させる政策を次期計画に

町長 次期計画でより町民に理解される施策を検討

問

ユネスコエコパーク、SDGs 未来都市、ネイチャーポジティブ宣言、UDC^{※2}に取り組み町としての視点から質問。シビックプライドとの言葉を広報等に力を入れながら様々な場面で積極的に内外に発信する時では。

答

町長 シビックプライドという言葉とその概念も明確にしながら、町内外に発信していきたい。

問

シビックプライドとは、行政から与えられるものではなく、町民自らまちづくりに関わり、自分たちの意見が反映されているという実感から生まれてくるもの。UDCみなかみという絶好の機会を、町民を巻き込む大きな運動にするため、町長自らUDCの拠点に向き、地域住民や東大生と膝をつき合わせながら、町の未来を熱く語り合うような場を今年度中に開催するつもりは。

答

町長 UDCみなかみは、上毛高原駅周辺はもとより、町全体の地域づくりの拠点。「水とともに生きる人々と、ミライを描き価値をつなぐ、知と実践のハブ。」をテーマとしている。町の持つ価値をつなぎ、夢のある未来をいかにして創造し実践していくか、大いに語り合う場を持つていきたいと思う。

答

町長 周知が不十分という指摘については、ポイ捨てが絶えない状況を踏まえると真摯に受け止めるなければならない課題と認識。環境指導員については、町職員が不法投棄の監視パトロールや警告看板設置など、指導員としての役割を直接担ってきた実績があることから、現在まで指導員の役職の設置は見送られてきた。

問

現実には即した機能する施策の展開を求めるが、見解は。

答

町長 環境美化条例は、制定から20年以上の歳月が経過。現在の複雑化した環境課題や本町が目指すエコパークの理念に照らし、時代に即した見直しや運用のアップデートが必要な時期を迎えていると認識。

*他に『ハラスメント防止の条例化』や『木材の利用状況』など質問した。



UDCみなかみ（上毛高原駅前）

※1

シビックプライド。地域への誇りや愛着を持ち、その地域をより良くするために積極的に貢献しようとする気持ち。

※2

UDC（アーバンデザインセンター）は、課題解決型「未来創造型まちづくり」のための公・民・学連携の拠点。UDCみなかみは全国33番目のUDCとして、北関東エリアで初めて設立された。



星野 宗央 議員

自衛隊への名簿提出の現状は

町長 募集に必要となる情報提供の協力を行っている

問

名簿提出の現状はどうなっているのか。

問

今後の自衛隊の名簿提出について。

感謝の気持ちを育てたりすることを目的として「お弁当の日」を始めている。

問

「お弁当の日」の扱いについて、なぜ周知されなかったか。

答

町長 自衛隊群馬地方協力本部長から、自衛官及び自衛官候補生の募集に必要な募集対象者情報の提供について依頼を受けており、情報提供の協力を行っている。

答

町長 協力していく。データか紙ベースかは、向こうから指示があると思うので、それに対応していきたい。

問

学校給食の無償に逆行するのではないか。

答

教育長 「お弁当の日」に取り組むということは、保護者の方の費用負担を軽減するという視点から捉えれば、逆行するかもしれない。しかしながら、「お弁当の日」は食育や家族の絆を深めるなどが目的なので、目的が違うということと、この趣旨には賛同してもらいたいと考えて、取り組んでいく。

答

教育長 学校として食育の観点から取り組んでいるので、保護者以外の方にあえて周知する必要はないと思うている。

小・中学校に通っている児童・生徒がいらないご家庭には、必ずしも必要な情報ではないと考えて、周知していない。

問

承諾に関しては特に必要がないのか。

答

町長 承諾については、個人情報保護法第69条第1項により、個人情報利用及び提供は制限されているが、法令に基づく場合はその限りではないと規定されている。

答

教育長 平成28年度から食育の取り組みとして食について家族で共に考える機会を創出し、話し合うことで親子、家族の絆を深め、子どもたちの食や料理に対する関心を高めたり、食材や調理する人への

問

なぜこのような取り組みをしているのか。

町の「お弁当の日」の取り組みは

「お弁当の日」の継続は、学校給食センター運営委員会等で引き続き検討していく。





河合 史将 議員

たくみの里の今後は

町長 定期的、計画的な修繕が必要

阿部町長になり、みなかみ町はどのように変わったのか

問 就任3年8か月、取り組まれた施策やその成果・実績は。

答 町長 3年8か月で行政と町民、さらには企業や他の自治体、そして学術機関等との連携や協力が格段に深まり、共につくる町へと変貌を遂げてきた。

- ・出産祝金を一律10万円へ改正
- ・不妊治療1回30万円
- （回数制限なし）
- ・遠方出産費用助成事業、無痛分娩費用助成事業新設
- ・第3子以降の給食費無償化
- ・中学3年生の給食費無償化
- ・小・中学校の入学支援金をそれぞれ5万円、10万円と増額
- ・福祉おでかけタクシーカード事

問 現在進行形の施策は。

答 町長 いくつかのプロジェクトを推進。

- ・湯原温泉街の再生
- ・ネイチャーポジティブの推進
- ・オーガニックビレッジの推進とみなかみスタイルの確立
- ・アーバンデザインセンターみなかみの本格的な展開

- ・ユネスコエコパークの理念に基づく持続可能なまちづくりの推進

二期目の挑戦も掲げたが

問 町長選に当選した際、どのような町へ。

答 町長 みなかみ町と関わっている民間全ての方々といった多様な主体との連携を深化させ、持続可能な町を次の世代へと引き継いでいくことを目標にしたい。

たくみの里の今後について

問 たくみの里について、施設の老朽化や維持管理、修繕費用などの課題。今後どのように保全し、活用し、次世代へ継承していくのか。

答 町長 たくみの里は、町にとって大切な観光資源。5年後、10年後を見据えて定期的、計画的な修繕が必要。現状をしっかりと精査し、経済的で効率的な手法をもって取り組んでいきたい。

問 笠原地区の公衆トイレ周辺、今後の活用は。

答 町長 周辺の活用は、株式会社たくみの里が現在も引き続き整備に取り組んでいる。

町としては、たくみの里らしい景観や雰囲気との調和を図りながら穏やかなにぎわいの創出につながる活用となるよう、関係者と連携を図りながら検討していきたい。



牧田 直己 議員

月夜野北小・古馬牧小の今後は

教育長 2～4年後の利活用を目的に協議

問 2つの廃校施設について、現状どのような維持管理を行っているか。施設の老朽化や維持管理の課題は。

答 教育長 2つの校庭と老朽化が著しい月夜野北小体育館は、近隣の方々の防犯上の安全管理の観点から、基本的に人が立ち入らないよう制限中。今後の課題は、施設の

再利用を含めた活用方法・方針の決定、早期に利活用を図るための準備、それに伴う校舎等の解体工事等があると認識している。

問 月夜野北小・古馬牧小の利活用について、今後の方向性と検討のスケジュールは。

答 教育長 統合から1年間は校舎を倉庫として活用する。課題は都市計画の用途地域、土砂災害警戒区域、地元調整等がある。担当課決定後、2～4年後の利活用を目的に協議継続と推測する。

町民の安全確保を最優先とした大規模災害時の相互支援体制について

問 当町は東日本大震災、能登半島地震の際に、職員派遣や現地支援を行った。どのような課題を認識し、教訓を得たか。

答 町長 東日本大震災では町全体で321名がホテル等に避難された。被災者が速やかに生活基盤を整え、心身のケアを受けられる体制づくりが極めて重要。自治体間の連携と支え合いの重要性を深く認識した。地域間の協力体制の構築、避難所の受入能力の向上、物資支援の円滑化に取り組んでいる。

問 首都直下型地震や南海トラフ地震等の大規模災害時、町民の生命と安全、生活機能を優

先しながら、外部支援や避難受け入れとの関係をどう整備するか。

答 町長 避難誘導や医療、生活支援の確保を図りたい。避難所の収容能力を再確認し、必要に応じて臨時避難場所の設置や宿泊施設とも連携し、受入態勢を拡充したい。

問 平時からどのような備えや連携体制の整備を進めているのか。

答 町長 平時の備えはまだ十分とは言えない。防災協定を締結している自治体との連携強化を軸に、物資支援体制と情報共有の整備に取り組み、地域防災力の向上に努めていきたい。

*他にみなかみ町ならではの教育環境の充実について質問した。



旧 月夜野北小学校



旧 古馬牧小学校



活動報告

総務文教
厚生
常任委員会

5月12日 総文委員会レポート

視察 東京おもちゃ美術館

この視察の目的は、本町において整備を予定している、みなかみ町おもちゃ美術館（仮称）について先進事例である東京おもちゃ美術館を視察し、その設立趣旨や社会的意義、果たしている役割について理解を深めるために実施した。

現在、おもちゃ美術館は全国に15カ所あり、みなかみ町は18番目にオープンする計画で進めている。



建物は古い小学校を活用（新宿区四谷）

る。事業を展開するにはボランティア組織の構築がもっとも重要な課題であり、おもちゃ芸員として最低でも150人規模のボランティア登録が必要である。

木育拠点としての役割は、赤ちゃんからお年寄りまで楽しめる多世代交流の場を目指し、年間5万人の入館者で黒字化を目指す。

今後の課題は、改修整備には多額の費用がかかり資材価格や原油価格の高騰からコスト増が懸念される。入館者の大半がマイカー利用と想定されるため、駐車場の確保や鉄道利用者の具体的な運行計画など継続的に検討する必要がある。

こうした課題を踏まえ、指定管理料に頼らない運営を実現していただきたい。委員会としてもこの構想については注視していきたい。

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会

4月17日 産観委員会レポート

概要 下水道使用料改定と物価高騰の影響について協議

上下水道課より下水道経営戦略及び下水道使用料改定について報告を受けた。将来にわたり安定した下水道事業を維持するため、令和9年度から段階的に使用料を改定し、最終的には現行料金から約25%増の改定を見込んでいるとの説明があった。

また、物価高騰や世界情勢の影響について各課から現状報告を受けた。上下水道事業では資材調達への影響、農業分野では肥料や飼料価格の上昇、観光施設では燃料費の高騰、土木分野ではアスファルトなど建設資材の値上がり懸念されており、今後の事業運営や住民生活への影響について意見交換を行った。

本委員会では、町民や事業者の声を丁寧に把握しながら、状況の変化に応じた適切な対応に努めるよう求めた。今後も物価高騰の動向を注視し、持続可能な地域づくりに向けた議論を進めていく。



新たな活用が始まる旧須川幼稚園舎

このほか、以下について、説明があった。

- 緊急銃猟対応マニュアル（案）
- 旧須川幼稚園舎の活用
- 町道布施師田線応急対策工事
- 土木行政懇談会

まちの匠

machi no takumi

まちの匠とは、文化、伝統、自然、生活などの知識や技能、技術を持つ方のことです。
みなかみ町の匠を紹介します。

匠ナンバー

14

猟師・ジビエ料理の匠

阿部 達也 さん
Abe Tatsuya (51歳)



——生まれたところ、育ったところ
旧水上町（綱子）

——どんな匠なの

猟師・料理人として、自らの手で獲った地元の素晴らしい食材を、より良く活かした料理に仕上げて提供しています。
いかにシンプルに美味しく食材の味を活かしていくかは、「食材を知る」ことが大切です。山からいただく食材はお裾分け程度でいいので、無駄にせず守りながら分けていただくという、自然に対する思い入れを大切にしています。

——次世代へ継承したいこと

猟師・料理人として自然から学んだことをすべて伝えていきたい。食するとは命をいただくこと。動物の獲り方とか山の様子や変化、命を分けてもらうという気持ち。料理も狩猟も覚えたいという子が来てくれたら一番嬉しい。

——匠になった経過は

元々、山や川で遊ぶのが好きでした。料理は、当時民宿だった実家の手伝いを子どもの頃からしていて、自然と好きになり興味を持ちました。狩猟は27歳から始めました。山からいろいろ獲ってくる人に憧れがあり、究極の食材を自分の手で獲り、料理したいと思っていたからです。実家は旅館となり、料理部門の責任者を25年務めた後、独立して「お山の食堂たんとかわっさい」を2020年にオープンしました。



阿部達也さんがつくる料理一つひとつには、命をいただくということに対して、深く考えさせられるものばかり。まさに自然と共生する町、みなかみ町にとって大事にしていかなければならない考えてあると思います。

よせられた感想

80代

年を重ねて議場まで行けなくなつてしまい、「議会だより」は唯一、議会のことを知ることができ、ため、ありがたいです。
(小日向)

80代

議員各位のお考えを楽しく拝読いたしました。明るい町づくりへの努力に感謝いたします。
(後閑)

40代

いろいろな町への活動をして、良い報告をお願いします。町民の意見を聞き、良い方へ。
(月夜野)

70代

住民のために皆さんが頑張ってください。いろいろ心が強く思いました。これからもよろしく願っています。
(湯宿温泉)

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

……………流れ……………

- ①受付にて「受付表」に記入する
(住所・電話番号・氏名)
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱に入れて終了

※飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

次回の定例会は

**8月27日(木)～
9月 4日(金)の予定**

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

席数：34席

【問い合わせ先】議会事務局

☎25 - 5023

議会だより編集特別委員会

委員長…江口 樹

副委員長…河合 史将

委員…茂木 法志

星野 宗央

鈴木 美香

編集モニター

利根商業高等学校生徒

虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、下記の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めるようなことも禁止されています。

趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

- 秘書などが代理で出席する場合の結婚祝
- 入学祝・卒業祝
- 町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ
- お祭りへの寄付や差し入れ
- 落成式・開店祝の花輪
- お歳暮やお年賀
- 葬式の花輪
- 供花
- 秘書などが代理で出席する場合の香典
- 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

編集後記

早いもので、任期も残りわずかとなりました。

令和6年10月の臨時議会で議会だより編集特別委員会に選任されてから、今回で7回目の議会だよりとなります。新体制のもと、委員長のリーダーシップにより委員会は円滑かつ充実した議論を重ねることができました。

委員一人ひとりが「より多くの町民の皆さまに手に取っていただき、親しみをもって読んでいただける議会だより」を目指して積極的に意見を交わし、様々な意見を尊重しながら、より良い議会だよりとなるよう取り組んで参りました。

今年は改選の年を迎え、このメンバーでお届けする議会だよりも残りわずかとなりました。これまでと変わらぬ思いを胸に、町民の皆さまに親しまれ、手に取っていただける議会だよりを目指し、最後まで委員一同力を合わせて取り組んで参ります。

(河合 史将)



問題

議員の定数は何人でしょうか？

- Ⓐ 30人 Ⓑ 18人 Ⓒ 14人

前回の議会だより 87 号ふるさとクイズの正解は『Ⓐ 鹿児島県』でした。

- ★この頁は町民みなさまにご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加ください。
- ★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加の
きまり

下のハガキまたは、裏面の FAX 用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。

※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318

みなかみ議会だより「クイズ・感想」係

締切：令和8年8月31日（当日消印有効）

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

群馬県利根郡みなかみ町後閑 318

みなかみ議会だより

「クイズ・感想」係

3 7 9 1 3 9 0

料金受取人私郵便

沼田局承認

1154

差出有効期間
令和9年3月
31日まで
(切手不要)

— 記入欄は裏面にあります —

山折り線



コゲラ（撮影場所：羽場）

7月2日は「谷川岳の日」



皆さんの
感想

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127

○ クイズの答え ⇨

○ 住 所 ⇨

(ふりがな)
○ 氏 名 ⇨

○ 年 代 ⇨ ・ ～10代 ・ 20代 ・ 30代
(該当項目に○印を ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代
付けてください) ・ 70代 ・ 80代～

○ 議会だよりの感想

のりしろ

のりしろ

のりしろ